

ウィズコロナを踏まえた行事等に関する基本的な考え方

1 経緯

岩手県では、「岩手緊急事態宣言」を解除し、部活動の時間制限を取りやめることを決め、マスクを着用しなくてもよい場面の実践例を提示するなど、基本的な感染症対策を徹底しながら、社会活動・経済活動を進める方向性を示した。

2 市の行事等に関する基本的な考え方

市の行事等について、開催を基本とし、感染状況に留意しながら、基本的な感染対策を徹底するとともに岩手県の感染症対策の考え方を参考に開催形式を工夫する。

【各部等の行事等で取り組んでいる主な感染症対策】

①企画検討における工夫

- ・「3密」を防ぐよう日程調整や会場選定を行う。
- ・時間短縮が可能かどうか、来賓者等の限定が可能かどうかを検討する。
- ・案内や開催通知の際には、事前に自宅等で検温など体調チェックを行うことや、参加当日に発熱等体調が優れない場合には、参加を控えるようお願いする。
- ・参加者の一覧表作成など、可能な限り連絡フォロー体制を確保する。

②会場レイアウトにおける工夫

- ・受付時の検温、こまめな手指消毒ができる場所を設ける。
- ・対面の場合は、席の間隔を空ける。
- ・屋内の場合には十分な換気を行う。

③公民館等公共施設における飲食を伴う場合の工夫

- ・席の間に防護シート等を設置する。対策用品の設置が難しい場合は、席は対面にせず、間隔を2m以上空けるなど会場レイアウトを変更する。
- ・大皿の盛りつけは避け、料理は個々に提供する。
- ・参加者には、大声を控えることや会話時にマスクを着用することを徹底するようお願いする。